

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営学Ⅰ business administrationⅠ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、経済学、起業演習、起業論、マーケティングⅠ・Ⅱ、経営組織論、技術戦略経営、知的戦略マネジメント論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ、経済学、ビジネス実務総論Ⅰ、起業演習、経済学				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
國分三郎	本館 2F	木曜日 13：00～14：00	授業中に指示します	
授業の概要				
はじめに経営学を学習する人を対象にできるだけ事例を挙げながら、大学生として経営学を学ぶ意義や企業の種類、経済社会における企業の役割、社会における企業の社会的責任といった今日の経営学の基本的事項を取り上げる。また、履修者のほとんどは、将来、企業に就職を希望するものであるため、現代企業の雇用問題を取り上げる。				
授業の到達目標				
①経営学の基本的概念や理論を理解することができるようにする。 ②現代企業の社会的役割を理解することができるようにする。 ③企業を取りまく環境とそこにおける企業の行動を理解することができるようにする。 ④株式会社の歴史や特徴を理解することができるようにする。				
授業の方法				
講義 DVDの映像を使って履修者の理解を深めるようにする。				
学習の成果				
①経営学の基本的な概念を理解して説明することができる。 ②わが国の企業の経営問題を理解して説明することができる。 ③株式会社の形態的特徴や組織の内容を理解して説明することができる。 ④国際社会における企業活動の現状と課題を理解して説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	大学で経営学を学ぶ意義(仕事と経営学、個人が身につけるべき経営能力)			
第3回目	社会における企業の役割(人間の生活と企業の関わり、経済社会における企業の役割)			
第4回目	企業の種類①(企業形態とは、出資にともなう責任と権限、シナジー効果)			
第5回目	企業の種類②(私企業と公企業、個人企業と共同企業、個人企業と法人企業)			
第6回目	会社法における会社に種類(会社法とは、株式会社、合名会社、合資会社、合同会社)			

第7回目	株式会社の特徴と仕組み①(株式会社の歴史、資金調達の有利性)	
第8回目	株式会社の特徴と仕組み②(株式会社制度、株式会社の仕組み)	
第9回目	所有と経営の分離①(所有と経営の分離とは、経営機能の歴史的分化)、小テスト	
第10回目	所有と経営の分離②(専門経営者の出現、バーリー・ミーンズの実証研究、わが国の所有と経営の状態)	
第11回目	コーポレートガバナンス(コーポレートガバナンスとは、わが国におけるコーポレートガバナンス状況)	
第12回目	企業とステークホルダー(ステークホルダーとは、好意の獲得と企業行動、企業の利害調整機能)	
第13回目	学問としての経営学(経営学の体系、経営学の歴史)	
第14回目	新しい時代における経営の諸問題(国際社会における企業の行動、少子高齢化社会における企業の行動)	
第15回目	まとめとテスト(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高水準(S)としては、基本的専門用語を90%正解すること。
中間・学期末試験	60%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的一貫性をもって論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書 片岡信之編『はじめて学ぶ人のための経営学 ver.2』 文真堂		
履修上の心得・ルール		
受講態度(特に私語禁止)および出席状況を重視する。無断欠席・遅刻は減点の対象とする。遅刻3回で無断欠席1回とする。		